

令和4年度 健康診査受診等実施規程取扱要綱

(令和4年4月1日付一部改正)

健康診査受診等実施取扱要綱について下記の通り定める。

- ① 受診等資格：健診機関等で受診等実施日における、健保組合の被保険者、被扶養者の資格を有する者。(一部条件有り)
- ② **被保険者は特定健診項目及び法定健診項目、被扶養者は特定健診項目の全て**を含んだ健康診査を受診すること【必須条件】
- ③ **原則、契約医療機関での受診とする。**
契約健診機関以外で受診する場合、下記事項の他別途定める。
- ④ 年齢制限のある者は、健診・受診年度(4月から翌年3月迄)にその年齢に達する者をいう。
- ⑤ 受診期間は、4月から12月末までに受診した者に補助を適用する。

【健診事業】

(税抜表示)

被保険者	生活習慣病	<p>【対象者：全員】 注) 人間ドックとの重複受診不可 費用の負担は、下記個人負担を除き事業主・健保で各々負担する。(事業主・健保は原則同額負担とする)</p> <p>個人負担額：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約健診機関：無料(但し、契約外健診項目追加による金額) ・ 契約外健診機関：健診上限額(22,000円)を設け、健診上限額を超える金額部分 <p>個人負担を除く費用は事業主・健保で負担する。 任継者についても同様であるが、事業主負担分は健保で負担する。</p>
	人間ドック	<p>【対象者：35歳以上】 注) 生活習慣病との重複受診不可 費用の負担は、個人・事業主・健保で各々負担する。(事業主・健保は原則同額負担とする)</p> <p>個人負担額：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約健診機関：12,000円及び契約健診金額を超える金額部分 ・ 契約外健診機関：健診上限額(40,000円)を設け、12,000円及び健診上限額を超える金額部分 <p>上限額まで(≤40,000円)：12,000円 上限額以上(>40,000円)：12,000円＋上限額を超える額</p> <p>任継者についても同様であるが、事業主負担分は健保で負担する。</p>
	脳ドック	<p>【対象者：40歳以上】</p> <p>個人負担額：10,000円及び健診上限額(35,000円)を超える金額部分</p> <p>個人負担を除く費用は健保で負担する。 任継者についても同様である。</p>
被扶養者	家族健診	<p>【対象者：23歳以上】 注) 人間ドックとの重複受診不可 費用の負担は、個人・健保で各々負担する。</p> <p>個人負担額：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集合契約：無料※個別配付の受診券利用(40歳以上) ・ 巡回レディース：基本項目は無料・オプション項目は10,000円まで健保補助 ・ 契約健診機関：無料(但し、集合契約・巡回レディースでの受診を原則とする) ・ 契約外健診機関：健診無料上限額(22,000円)の実費を補助する <p>個人負担を除く費用は健保で負担する。</p>
	人間ドック	<p>【対象者：40歳以上】 注) 家族健診との重複受診不可 費用の負担は、個人・健保で各々負担する。</p> <p>個人負担額：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約及び契約外健診機関共通：健診上限額(40,000円)を設け、20,000円及び健診上限額を超える金額部分 <p>上限額まで(≤40,000円)：20,000円 上限額以上(>40,000円)：20,000円＋上限額を超える額</p> <p>個人負担を除く費用は健保で負担する。</p>
	脳ドック	<p>【対象者：40歳以上】</p> <p>個人負担額：健保の負担額を除いた金額(実費-10,000円) 健保負担額：10,000円</p> <p>任継被扶養者についても同様である。</p>
		<p>※ 婦人科健診(乳がん及び子宮頸がん)は契約医療機関を除き上限額(8,000円)を定め、上限額を超える費用は受診者負担とする。(乳がんと子宮がん検査をそれぞれ単独で受診された場合の上限額は各々4,000円とする)</p> <p>※ 被扶養者で人間ドック対象外の方が希望されドック受診された場合、「人間ドック算式+5,000円」を受診者負担とする。</p> <p>※ 前立腺ガン検査は50歳以上を対象とし、契約医療機関を除き上限額(3,000円)を定め、上限額を超える費用は受診者負担とする。</p> <p>※ 契約外の健診項目を受診した場合は、その健診項目に掛かる費用は自己負担とする。</p>

【補助事業】

(税込表示)

歯科検診補助	<p>【対象者：被保険者】</p> <p>補助上限額：4,000円(税込)を限度に実費を補助する。</p>
インフルエンザ予防接種補助	<p>【対象者：被扶養者(家族)・任意継続者(本人・家族)】</p> <p>補助上限額を設け、年1回上限額を限度に実費を補助する。 但し、2回接種法による時は、2回を1回とみなす。</p> <p>補助上限額：3,500円(税込)を限度に実費を補助する。</p>

健康診査受診等実施規程取扱要綱の特例措置

(実施規程には記載せず、理事会決議により改廃も有るものとする)

健康診査受診等実施規程取扱要綱について、被扶養者(一部被保険者含む)の疾病予防として健診受診率向上を図るため、特例措置として下記の通り定める。

【 特例措置 1 】 満40歳及び満60歳被扶養者「人間ドック」の無料化 (H31.4.1改正)

- 対象者
1. 当該受診年度(4月～翌年3月)に満年齢40歳に到達する、被扶養者のみを対象とする。(H27.4.1新設)
(人間ドック初めての対象となる方の継続受診対策として)
 2. 当該受診年度(4月～翌年3月)に満年齢60歳に到達する、被扶養者のみを対象とする。(H29.4.1新設)
(65歳前期高齢者になる前の疾病の早期発見・早期治療、重症化予防対策として)
 3. 上記1.2.とも、年度の4月1日時点に加入している被扶養者を対象とする。
 4. 家族健診との重複受診は不可とする。

- 受診期間
1. 原則、4月1日～12月末迄の受診者に限る。(H30.4.1追記)

個人負担

契約健診機関 **無料(但し、契約健診機関に限る)**

【 特例措置 2 】 被扶養者「家族健診」の無料化 (H31.4.1新設)

- 対象者
1. 当該受診年度(4月～翌年3月)に満23歳以上の被扶養者を対象とする。
 2. 人間ドックとの重複受診は不可とする。

- 受診期間
1. 原則、4月1日～12月末迄の受診者に限る。

- 受診機関
1. 集合契約又は巡回レディースでの受診を原則とする。(R4.4.1新設)

個人負担

集合契約(40歳以上) **無料(R4.4.1新設)**

巡回レディース **無料・オプション項目は10,000円まで健保補助(R4.4.1新設)**

契約健診機関 **無料(但し、集合契約・巡回レディースでの受診を原則とする)**

契約外健診機関 **健診無料上限額(税抜 22,000円)を設け、健診上限額を超える金額**

尚、特例措置1.2とも上記の定め以外の取扱は健康診査受診等実施規程取扱要綱によるものとする。

【 特例措置 3 】 女性向け「HPVウイルス在宅検査(無料)」の実施 (R3.4.1新設)

- 対象者
1. 満年齢20歳以上の女性の被扶養者を対象に、「HPVウイルス在宅検査」を案内し希望者に対し実施する。
但し、希望者は必ず定期健康診断(家族健診)または人間ドック及び子宮がん検診を受診される方とし、万一、未受診の場合は掛かった費用を請求する。
なお、結果陽性後の子宮がん検査について、定期健診(家族健診)または人間ドック時の子宮がん検査のダブル受診は出来ず、万一受診した場合は後の検査を自己負担とする。